

浜の活力再生プラン (第2期)

1 地域水産業再生委員会 (ID: 1130002)

組織名	香川県地域水産業再生委員会 東讃地区部会
代表者名	部会長 嶋野勝路

再生委員会の 構成員	引田漁業協同組合、東讃漁業協同組合、津田町漁業協同組合、鴨庄漁業協同組合、さぬき市漁業協同組合、牟礼漁業協同組合、庵治漁業協同組合 東かがわ市、さぬき市、高松市 香川県、香川県漁業協同組合連合会
オブザーバー	

対象となる地域の 範囲及び漁業の種類	<p>【範囲】 香川県東部地域（東かがわ市、さぬき市、高松市庵治町・牟礼町）</p> <p>【漁業の種類】 魚類養殖業（37経営体）、ノリ養殖業（28経営体）、カキ養殖業（38経営体）、小型機船底びき網漁業（187経営体）、定置網漁業（1経営体）、船びき網漁業（8経営体）、敷網漁業（49経営体）、さわら流し さし網漁業（28経営体）、建網漁業（36経営体） 計412経営体</p>
-----------------------	---

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

東讃地域は、香川県の東部に位置し、播磨灘に面した比較的単調な磯と浜が混在する海岸線を有している。

漁業種類については、小型機船底びき網、定置網、船びき網などの漁業が主要な漁業として営まれているほか、ブリ類を中心とした魚類養殖業、ノリ養殖業及びカキ養殖業が漁業生産の中心となっている。

【漁船漁業】

域内には、県内で最も多い水揚量がある引田漁協や登録漁船数、水揚量ともに県下有数の規模を誇る庵治漁協があり、漁船漁業の盛んな地域であるが、近年の漁業コストの向上、魚価の低迷により漁業で生計を立てるのは難しい状況であり、漁業経営体数は減少の一途をたどっている。

【養殖業】

東讃地域には、日本で初めてハマチ養殖に成功した安戸池があり、養殖業が盛んな地域となっている。域内では、県魚であるハマチをブランド化した『ひけた鯛』、『オリーブハマチ』や瀬戸内海の気候風土に合わせた飼育方法の確立により生まれた『讃岐さーもん』などの養殖が行われている。しかし、近年の消費者の魚離れにより、期待どおりの価格向上、出荷量増加につながっておらず、品質の高い県内産養殖魚の更なる知名度向上、販売拡大が急務と

なっている。

ノリ養殖については、かつては香川県全体の生産額が 111 億円に達したこともあり、本県は国内でも有数なノリ生産地であったが、生産過剰により価格が急落し、経営体数は急激に減少した。それに加え、近年の海水温の上昇による漁期の短縮化、冬季の栄養塩レベルの低下、漁業コストの上昇により、ノリ養殖業の経営は非常に厳しい状況となっている。

また、当地域は県下有数のカキ養殖地域であるとともに、新たにワカメやアオノリ養殖にも意欲的に取り組んでいる。

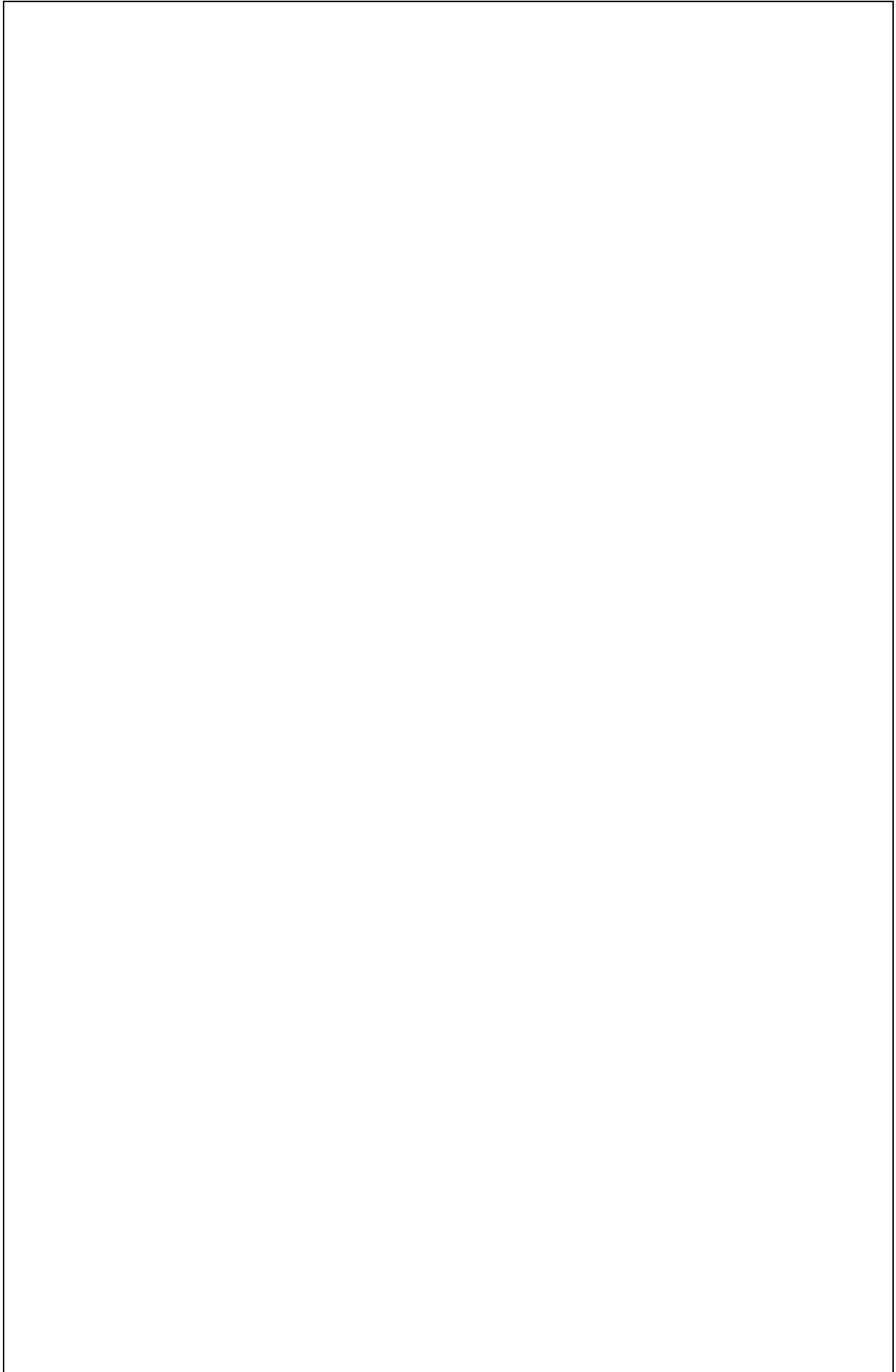
(2) その他の関連する現状等

- ・県産『ブランド魚』の認知度が低い魚種が多い。
- ・東讃地域は香川の最東部の地域であり、神戸淡路鳴門道を経由した京阪神からのアクセスが良い地域となっている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等

--





(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

- 漁業収入の向上
第1期で取組効果があり、継続・拡大する取組
 - ・魚類養殖の振興
 - ・ノリ養殖の振興
 - ・漁港機能強化等の施設整備
 - ・収入の安定化
 - ・浜の多面的機能発揮
- 漁業コストの削減
第1期で取組効果があり、継続・拡大する取組
 - ・省燃油対策の継続
 - ・魚類養殖業給餌コストの削減
 - ・養殖カキ殻の活用

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

香川県資源管理指針に沿って各漁業協同組合が定めた資源管理計画に基づき、漁獲努力量の削減に努めており、その履行については香川県資源管理協議会が確認を行っている。

(4) 具体的な取組内容（毎年ごとに数値目標とともに記載）

1年目（平成31年度）

取組の内容は、取組の進捗状況や得られた成果等を踏まえ、必要に応じ見直すこととする。

漁業収入向上のための取組

漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より0.2%増加）

○魚類養殖の振興

- ・魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水産物への消費拡大を促す。
- ・魚類養殖経営体は、香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えて生産する「オリーブハマチ」について、徹底した生産管理により、一層の品質向上、安全性の向上及び増産に務める。また、オリーブ等に関連した新たな魚種への展開を検討する。

○ノリ養殖の振興

- ・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。
- ・アオノリ養殖について、ノリ養殖経営体は関連事業を活用し、事業化されたアオノリ養殖の生産拡大と単価向上に取り組む。また、これま

	<p>で県外に頼っていたアオノリの種網を県内で種付けできるようにするため、種苗生産技術開発の検討を行う。また、比較的設備投資が少なく新規での操業が容易なアオノリ養殖について、地区内の生産拡大のため、アオノリ養殖適地選定の試験を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロノリ養殖について、ノリ養殖経営体はノリ加工段階におけるノリの高品質化、効率化のための施設整備を順次実施するとともに、海底耕うん等の漁場管理や色落ち対策に取り組み、品質の向上を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化のため、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 0.4%削減)</p> <p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業に参加する地区内の漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・地区内の漁業者は、競争力の高い機器への換装を推進する。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○魚類養殖業給餌コストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 <p>○養殖カキ殻の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・もうかる漁業創設支援事業 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国]

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・ 香川県水産振興総合対策事業 [県]
--	--

2年目（平成32年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より 0.4%増加）</p> <p>○魚類養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水産物への消費拡大を促す。 ・ 魚類養殖経営体は、香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えて生産する「オリーブハマチ」について、徹底した生産管理により、一層の品質向上、安全性の向上及び増産に務める。また、オリーブ等に関連した新たな魚種への展開を検討する。また、昨年度の検討結果を踏まえ、新たな魚種における効果の根拠となる科学的データの解析を推進する。 <p>○ノリ養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ アオノリ養殖についてノリ養殖経営体は関連事業を活用し、事業化されたアオノリ養殖の生産拡大と単価向上に取り組む。また、これまで県外に頼っていたアオノリの種網を県内で種付けできるようにするため、種苗生産技術の開発に着手する。 ・ クロノリ養殖について、ノリ養殖経営体はノリ加工段階におけるノリの高品質化、効率化のための施設整備を順次実施するとともに、海底耕うん等の漁場管理や色落ち対策に取り組み、品質の向上を目指す。 ・ 県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化のため、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・ 漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。
----------------------------	--

<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 0.8%削減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○省燃油対策の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・ 競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コストに取り組む。 ・ 漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 ○魚類養殖業給餌コストの削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 ○養殖カキ殻の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業人材育成総合支援事業 [国] ・ 漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・ 浜の活力再生交付金 [国] ・ もうかる漁業創設支援事業 [国] ・ 水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・ 魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・ 香川県水産振興総合対策事業 [県]

3年目（平成33年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 0.6%増加)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○魚類養殖の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ 魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水産物への消費拡大を促す。 ・ 魚類養殖経営体は、香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えて生産する「オリーブハマチ」について、徹底した生産管理により、一層の品質向上、安全性の向上及び増産に務める。また、新たな魚種における効果の根拠となる科学的なデータの解析と蓄積に努める。 ○ノリ養殖の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・ アオノリ養殖についてノリ養殖経営体は関連事業を活用し、事業化さ
----------------------------	--

	<p>れたアオノリ養殖の生産拡大と単価向上に取り組む。また、開発したアオノリ種苗生産技術を県内のアオノリ養殖経営体と共有することにより、県内全体のアオノリ生産の拡大および県内での共販開催を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロノリ養殖について、ノリ養殖経営体はノリ加工段階におけるノリの高品質化、効率化のための施設整備を順次実施するとともに、海底耕うん等の漁場管理や色落ち対策に取り組み、品質の向上を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 1.2%削減)</p> <p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コスト化に取り組む。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○魚類養殖業給餌コストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 <p>○養殖カキ殻の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。
<p>活用する支援措置等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漁業人材育成総合支援事業 [国] ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・浜の活力再生交付金 [国] ・水産多面的機能発揮対策事業 [国]

	<ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・香川県水産振興総合対策事業 [県]
--	---

4年目（平成34年度）

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。（基準年より0.8%増加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○魚類養殖の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水産物への消費拡大を促す。 ・魚類養殖経営体は、香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えて生産する「オリーブハマチ」について、徹底した生産管理により、一層の品質向上、安全性の向上及び増産に務める。また、新たな魚種における効果の根拠となる科学的なデータの解析と蓄積に努める。 ○ノリ養殖の振興 <ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・アオノリ養殖についてノリ養殖経営体は関連事業を活用し、事業化されたアオノリ養殖の生産拡大と単価向上に取り組む。また、開発したアオノリ種苗生産技術を県内のアオノリ養殖経営体と共有することにより、県内全体のアオノリ生産の拡大および県内での共販開催を目指す。 ・クロノリ養殖について、ノリ養殖経営体はノリ加工段階におけるノリの高品質化、効率化のための施設整備を順次実施するとともに、海底耕うん等の漁場管理や色落ち対策に取り組み、品質の向上を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化のため、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。 ○漁港機能強化等の施設整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。 ○収入の安定化 <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 ○浜の多面的機能発揮 <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資
----------------------------	--

	源管理の取り組みを実施する。
漁業コスト削減のための取組	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 1.6%削減)</p> <p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・ 競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コスト化に取り組む。 ・ 漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○魚類養殖業給餌コストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 <p>○養殖カキ殻の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。
活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業人材育成総合支援事業 [国] ・ 漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・ 浜の活力再生交付金 [国] ・ 水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・ 魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・ 香川県水産振興総合対策事業 [県]

5年目(平成35年度)

取組の最終年であり、以下の取組を引き続き行うが、目標達成を確実なものとするよう、プランの取組の成果を検証し必要な見直しを行う。

漁業収入向上のための取組	<p>漁業収入向上のため、次の取組を実施する。(基準年より 1.0%増加)</p> <p>○魚類養殖の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魚類養殖経営体は、養殖魚のオーナー制度を運用し、本地区養殖魚の優れた特性について、消費者の理解が広がるよう努めるとともに、養殖魚以外の海産物を季節毎にオーナー会員に頒布することにより、本地区水産物への消費拡大を促す。 ・ 魚類養殖経営体は、香川県産オリーブ葉を餌に混ぜ与えて生産する「オリーブハマチ」について、徹底した生産管理により、一層の品質向上、安全性の向上及び増産に務める。また、新たな魚種については、蓄積された科学的なデータに基づき、地域特性を活かした販売拡大に努める。 <p>○ノリ養殖の振興</p>
--------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖経営体は、香川県産ノリをコンビニエンスストアで販売しているおにぎり等に使用してもらうように、ノリ商社への販売促進を強化する。 ・アオノリ養殖についてノリ養殖経営体は関連事業を活用し、事業化されたアオノリ養殖の生産拡大と単価向上に取り組む。また、開発したアオノリ種苗生産技術を県内のアオノリ養殖経営体と共有することにより、県内全体のアオノリを生産拡大させ、県内での共販開催を目指す。 ・クロノリ養殖について、ノリ養殖経営体はノリ加工段階におけるノリの高品質化、効率化のための施設整備を順次実施するとともに、海底耕うん等の漁場管理や色落ち対策に取り組み、品質の向上を目指す。 ・県内のノリ養殖経営体で組織する香川県海苔養殖研究会は、クロノリの品質向上・生産安定化のため、効果的な食害対策を検討し、試験を実施する。また効果が示された食害対策について、県内のすべてのノリ養殖経営体と共有し、県内のクロノリ生産安定に努める。 <p>○漁港機能強化等の施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内の全漁業者は、漁協の協力を得ながら、クレーン設備等の作業効率化を図るため、漁港機能の強化を計画的に実施する。 <p>○収入の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協は、漁業共済、積立ぶらすへの加入を促進し、自然災害や不漁などに起因した漁業収入の不安定に備える。 <p>○浜の多面的機能発揮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁業者は、漁協の協力得てゴミ掃除等の沿岸域の環境美化、漂流漂着物の処理等を推進する。 ・漁業者は、漁協等の協力を得て、海底耕うんや干潟の保全及び藻礁の設置等による漁場環境の保全活動に努め、稚魚放流等の資源造成や資源管理の取り組みを実施する。
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>漁業コスト削減のため、次の取組を実施する。(基準年より 2.0%削減)</p> <p>○省燃油対策の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年の結果を踏まえ、全漁業者は、減速航行、船底清掃を実施し、燃料の消費を削減する。 ・競争力の高い機器に換装した地区内の漁業者は競争力強化型機器による操業により、省力・省コスト化に取り組む。 ・漁協は、漁業経営セーフティネット構築事業への加入を推進する。 <p>○魚類養殖業給餌コストの削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖経営体は、魚類養殖用生餌の相場情報を積極的に収集し、価格が低い時に大量に購入することにより、餌購入費用の削減に努める。 <p>○養殖カキ殻の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カキ養殖経営体は、カキ殻処分コストの軽減を図るため、養殖カキ殻の有効な活用方法並びにカキ殻の処分施設・処分方法の研究を行う。有効な方法と判断されたものについては、随時試験的に着手し、結果を踏まえ、本格的に導入する。

活用する支援措置等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業人材育成総合支援事業 [国] ・ 漁業経営セーフティネット構築事業 [国] ・ 浜の活力再生交付金 [国] ・ 水産多面的機能発揮対策事業 [国] ・ 魚類養殖生産安定対策事業 [県] ・ ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] ・ 香川県水産振興総合対策事業 [県]
-----------	--

(5) 関係機関との連携

<p>○香川県水産試験場との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水産試験場が行う資源管理に関する調査の結果を基に、効率的な資源管理に努める。 ・ 当地域での水質等に適した養殖技術について研究を共同で行う。 <p>○他地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 他地域の漁業協同組合とも連携し、運送の共同運行などにより流通コストの削減を目指す。
--

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年	平成 25 年～29 年の 5 中 3 平均:漁業所得	千円
	目標年	平成 35 年度:漁業所得	千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

(3) 所得目標以外の成果目標

1 組合員当たり販売・購買事業 取扱高の9%以上の向上	基準年	平成 25～29 年度 5 ヶ年平均	千円
	目標年	平成 31～35 年度 5 ヶ年平均	千円

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

- 基準年の算出方法は、地区内漁業協同組合業務報告書（平成 25 年～29 年）で示されている販売事業取扱高と購買事業供給高の合計額を地区内組合員数で除した、過去 5 年間における 1 組合員当たりの販売・購買事業取扱高平均値（ 千円）とした。
- 目標年の設定は、浜の活力再生プランの取組みを実施することにより、下記のとおり、地区内 1 組合員当たりの販売・購買事業取扱高の年間向上率 3%を設定し、プラン期間内平均値を基準より 9%向上させ、弱体化する漁協組織基盤を改善する。

基準年：H25～29 年度地区内 1 組合員当たりの販売・購買事業取扱高平均値（ 千円）

1 組合員当たり販売・購買事業取扱高、向上割合

	取扱高	対基準年向上率 (%)
1 年目 (31 年度)		3.0
2 年目 (32 年度)		6.0
3 年目 (33 年度)		9.0
4 年目 (34 年度)		12.0
5 年目 (35 年度)		15.0
5 ヶ年平均		9.0

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
<ul style="list-style-type: none"> ・漁業人材育成総合支援事業[国] 	<p>意欲のある新規漁業就業者の安定的な確保・定着を図るため、漁業の将来を担う人材を育成支援し、浜の活力再生プランで目指す漁村地域の活性化に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・漁業経営セーフティネット構築事業 [国] 	<p>燃油経費への負担を軽減し、漁業コストを削減することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・水産多面的機能発揮対策事業 [国] 	<p>沿岸域の環境美化、藻場・干潟の保全、海難救助など、浜の持つ多面的機能を発揮する活動を実施することにより、浜の活力再生プランで目指す漁村地域の活性化に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・もうかる漁業創設支援事業 [国] 	<p>讃岐さーもん養殖について、より収益性の高い生産体制への転換を推進・実証することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・浜の活力再生交付金（水産関係地方公共団体交付金等実施要領に係るもの） [国] 	<p>水産資源の持続的な利用・管理の推進、水産業経営の強化及び漁港機能の強化等を図ることにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・香川県水産振興総合対策事業 [県] 	<p>水産物の販売促進、食育活動等に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・魚類養殖生産安定対策事業 [県] 	<p>養殖用餌料として従来活用されていない未利用魚を有効活用し、生餌を低価格で安定供給することにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ノリ養殖等振興総合対策事業 [県] 	<p>ノリの色落ち・食害対策等による生産安定化や新たな藻類養殖の普及に取り組むことにより、浜の活力再生プランで目指す漁業者の収入増に寄与する。</p>